

ADMISSION POLICY

グリーン・デジタル学科 アドミッションポリシー

求める学生像

食品、農業、IT及び環境等の分野において、社会科学及び情報学に係る専門知識を理解し、応用して、デジタル化による社会の変革や、カーボンニュートラルの推進に貢献する人材として活躍したいと願っている人

入学前に修得が望まれる知識・能力

高等学校各教科・科目全般について履修し、グリーン・デジタル学科における学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識を身につけ、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有するとともに、特に、次のような基礎学力を身につけておくことを望みます。

- ・社会科学及び情報学の基礎的な知識並びにそれらを応用する能力
- ・基礎的な文章読解力、表現力

救急救命学科 アドミッションポリシー

求める学生像

救急救命学の分野において、専門知識を理解し、応用することで、救急医療や災害医療において人々の健康増進に貢献する救急救命士として活躍したいと願っている人

入学前に修得が望まれる知識・能力

高等学校各教科・科目全般について履修し、救急救命学科における学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識を身につけ、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有するとともに、特に、次のような基礎学力を身につけておくことを望みます。

- ・自然科学及び社会科学の基礎的な知識並びにそれらを応用する能力
- ・基礎的な文章読解力、表現力、コミュニケーション力

学費等納付金・取得学位

<グリーン・デジタル学科>

学費	1年	1,800,000円	学位	学士(食農情報学)
	2年	1,500,000円		※農学関係
	3年	1,500,000円		
	4年	1,500,000円		
	学費合計	6,300,000円 (うち入学金30万円)		

<救急救命学科>

学費	1年	1,850,000円	学位	学士(医療技術学)
	2年	1,550,000円		
	3年	1,550,000円		
	4年	1,550,000円		
	学費合計	6,500,000円 (うち入学金30万円)		

開設時期

2027年度(令和9年4月)

募集人員

●**グリーン・デジタル学科** 55人(4年制・収容定員220人)

●**救急救命学科** 40人(4年制・収容定員160人)

※募集人数は予定であり、今後変更となる場合があります。

類似する学科

●**グリーン・デジタル学科**

- ・新潟国際情報大学 経営情報学部 情報システム学科
- ・東洋大学 食環境科学部 フードデータサイエンス学科
- ・北里大学 未来工学部 データサイエンス学科
- ・金沢工業大学 情報理工学部 知能情報システム学科※1

※1: 令和7年度から、工学部 情報工学科より改組

●**救急救命学科**

- ・新潟医療福祉大学 医療技術学部 救急救命学科
- ・上武大学 ビジネス情報学部 スポーツ健康マネジメント学科
- ・千葉科学大学 危機管理学部 保健医療学科 救急救命学コース

設置場所



新潟薬科大学

Niigata University of Pharmacy and Medical and Life Sciences



グリーン・デジタル学科 新津駅東キャンパス

〒956-0864 新潟市秋葉区新津本町1丁目2番37号
JR新津駅(東口)から徒歩1分

救急救命学科 新津キャンパス

〒956-8603 新潟市秋葉区東島265番地1
JR新津駅(東口・新津駅東キャンパス)からスクールバス乗車約9分
JR古津駅(1番線ホーム側出口)から徒歩約10分

「文系」×「理系」の多様な知で、未来をうみだす。



2027年春、新潟薬科大学は4学部7学科の総合大学へ

食農情報学部
グリーン・デジタル学科
(仮称・設置計画中)

医療技術学部
救急救命学科
(仮称・設置計画中)



新潟科学大学

Niigata University of Science

※仮称 2027年4月 新潟薬科大学から名称変更予定。大学名称の変更および新学科設置は計画中であり、今後変更となる可能性があります。

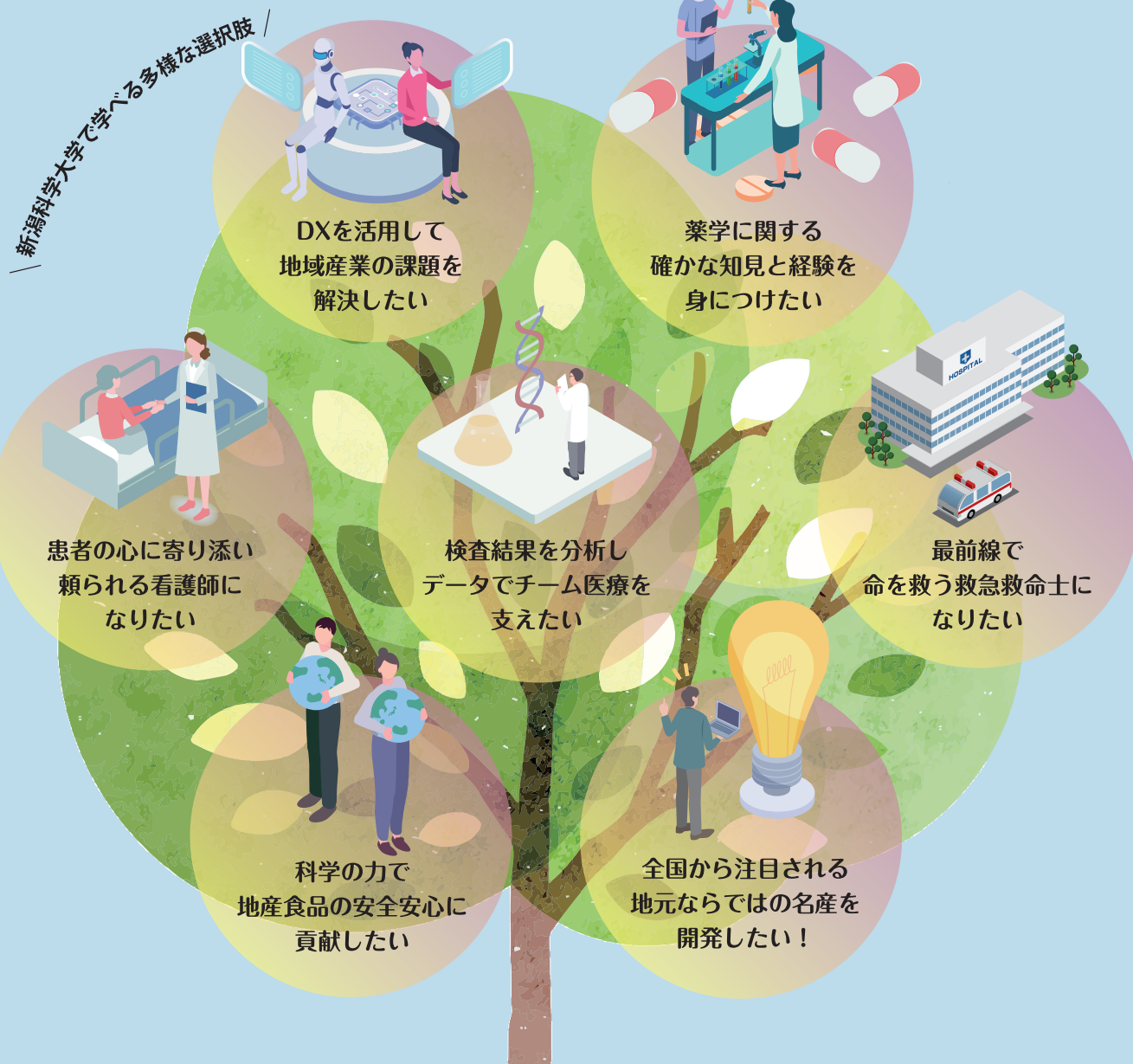
あなたの視点が、地域を変える。

新潟薬科大学は 新潟科学大学へ

(仮称・名称変更計画中)

プロフェッショナルへの道を切り拓く、
“なりたい未来から選べる”4学部7学科の総合大学へ。

新潟薬科大学は1977年に設置されて以来、
現代社会や地域が抱える課題を解決できる人材を育成してきました。
そして今、時代の移り変わりとともに、新たな社会課題が生まれ、それを解決するために、
専門領域で活躍できる人材が求められています。
現代ならではの課題を科学が解決し、「科学の力で地域社会を豊かにしたい」という強い思いから、
2027年春、新潟薬科大学は「新潟科学大学」として新しく生まれ変わります。
そして、建学の精神である「実学一体」に基づき、数十年後、様々な分野において地域の中核人材となる
「信頼されるプロフェッショナル」を育成していきます。



POINT 新たに「グリーン・デジタル学科」と「救急救命学科」が誕生 文系×理系の多種多様な学び。

薬学部

薬学科 (医療系 理学 化学)

医療現場に不可欠な存在の薬剤師。薬剤師になるために必要な専門知識や技術を習得するとともに、医療人としての倫理観やコミュニケーション力を養うためのカリキュラムを用意。最先端のチーム医療の現場で、活躍できる人をめざします。

食農情報学部 (仮称・名称変更計画中) (現 応用生命科学部)

食品生物化学科 (仮称・名称変更計画中) (現 応用生命科学科)

理系 食品科学/生物学/化学/環境共生学/理科教育学/農学

生物学や化学に関する基礎知識を身につけ、専門性を養う5コース(食品／バイオ／化学／環境共生／理科教職)を用意。産学連携の活発な共同研究に携わることで、食品・医薬品・化粧品・化学等の企業の開発・製造部門で活躍できる人をめざします。教職コースは実績豊富な専門教員の指導で、小中高等学校の教員をめざします。

食農ビジネス学科 (仮称・名称変更計画中) (現 生命産業ビジネス学科)

文系 経済学/経営学/商学

「経済学」と「経営学」に関する豊富な科目に加え、食品・農業・環境の専門的なカリキュラムを用意。地域社会と連携した実践的な演習やフィールドワーク、食品関連企業との商品開発などに携わることで、地域活性化や様々なビジネスで活躍できる人をめざします。

グリーン・デジタル学科 NEW (仮称・設置計画中)

文系&理系 農学/情報/社会科学/環境

社会や企業が抱える課題の解決のためにデータを集め、分析し、価値に変えていく力を身につけるカリキュラムを準備。「産学連携×インターンシップ」によるリアルな課題に挑み、広い視野をもったジェネラリストとして活躍できる人をめざします。

医療技術学部

臨床検査学科 (医療系)

現場のプロフェッショナルであり経験豊富な教員のもとで、臨床検査技師として活躍するために必要な基礎知識・臨床検査技術などを学び、チーム医療に必要なスキルを身につけます。

救急救命学科 NEW (医療系) (仮称・設置計画中)

緊迫した現場で求められる人命救助。最前線で活躍するために、現場経験豊富な教授陣から基礎知識はもちろん、状況にあわせた的確な判断力と処置方法を学びます。

看護学部

看護学科 (医療系)

様々な患者や地域住民の健康課題や特性に応じた判断力と実践力を養い、チーム医療体制のなかで役割を果たすための力を育てます。臨機応変に対応できる、地域医療に貢献できる“成長する看護職”を育てます。



TOPICS ここが変わる！3つのトピックス

1 文系×理系「実学一体」の多様な学びが 地域貢献をさらに深める

文系、理系の学生がともに学び、
学部・学科を越えた交流ができるキャンパス。



2027年春に新潟科学大学へと生まれ変わり、
今まで以上に地域に根ざした大学へ。総合
大学になることで、さらに多様な交流や学び
が生まれます。

2 デジタルデータを駆使した 地域の課題解決に挑む グリーン・デジタル学科新設

データ分析による
課題解決能力を身につける。



現 応用生命科学部での学びをベースに、デー
タサイエンスを活用した課題解決能力を育成。
「データ」を「価値」に変え、幅広い業界で貢献
できる人材育成をめざします。

3 地域医療の最前線を支える 救急救命学科新設

医療技術部に救急救命学科を新設。
的確な判断と処置で人命を救う。



あらゆる現場において、人命救助を左右する
的確な判断と適切な処置技術を修得します。
患者・傷病者の気持ちに寄り添う、信頼して
もらえる人間力の醸成をめざします。

地域課題を解決する新学科

食農情報学部

グリーン・デジタル学科

(仮称・設置計画中)

データを読み解き、
ミライを見通す目をみがく。

2027(令和9)年度開設予定



学びのポイント

POINT1

**広い視野とデータ分析力を武器に、
現代社会の課題を解決！**

「データ・デジタルを使ってミライを変えたい！」という気持ちがあれば充分。文系・理系の枠を越えた学びで、食料・生命・環境を中心とした社会課題をデータで分析し、デジタルを活用して解決する力を身につけます。そして、あえて業界をしぼらず、広い視野と知識・スキルを持ったジェネラリストとして、データの力で世の中を前に進める人材を育てます。

POINT2

**企業のリアルな課題に挑む、
「産学連携×インターンシップ」を経験**

企業と大学が協力し、企業において体験型のインターンシップ授業を行います。企業が直面している課題に対し、本質を見極めるための仮説を立てたり、必要なデータを収集・分析するだけでなく、デジタルを応用した解決策を考えるなど、データ・デジタルを活用して解決するプロセスを学びます。さらにインターンシップの取り組み内容を産学連携体制の「卒業研究」で継続し、最後まで課題解決へ導く学びをします。連携企業の一例：(株)新潟クボタ、(株)ブルボン、(株)メビウスなど

POINT3

**学部横断的な学びで、
知識と視野を
アップデート！**

「グリーン・デジタル学科」に、「食品生物化学科」と「食農ビジネス学科」を加えた3学科が連携した共通授業科目を履修することで、新しい学びが広がります。経済学やビジネスをはじめとする社会科学と、農学や健康などの自然科学、さらには情報など、多様な分野を学ぶことで、地域課題を解決するための幅広い知識と多角的な考え方が身につきます。



身につく力

- ☐ 実社会にある課題を発見する力
- ☐ 課題解決に必要なデータを集め、価値に変える力
- ☐ 他者と折衝する力、コミュニケーション能力

取得できる資格

基本情報技術者試験(国家資格)、
ITパスポート(国家資格)、
MOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)ほか

育てる人材像

- ☐ データを活用し、課題発見・解決ができる人材
- ☐ 地域産業や企業の課題にデータで解決策を提言できる人材
- ☐ 食料・生命・環境の社会課題に対してデータを基に戦略立案できる人材

将来の活躍フィールド

IT情報通信産業、食品産業、農業関連産業、環境インフラ産業、再生エネルギー産業、その他すべての産業、公務員、大学院進学 ほか
※GX(グリーントランスフォーメーション)、DX(デジタルトランスフォーメーション)といった、すべての産業で不足する専門人材の将来の活躍フィールドは無限大です。

医療技術学部

救急救命学科

(仮称・設置計画中)

救急の現場で生命をつなぎ、
高度な知識と技能を持った
救急救命士を育てる

2027(令和9)年度開設予定



学びのポイント

POINT1

**経験豊富な教授陣から学ぶ
現場に即した確かな判断力**

経験豊富な教授陣から学ぶ、実戦に即した知識や技術に加え、薬物治療に関する専門的な知識を習得できます。その幅広い知識や技術をもとに“救急医療”と“災害医療”の双方に貢献できる人命救助のプロフェッショナル「救急救命士」の育成をめざします。

POINT2

**多様な救急医療の現場と連携し
病院勤務の救急救命士も育成**

本学と連携した大規模病院や消防署の協力で、救急医療現場を想定した実践的な臨床実習が可能です。多様な臨床現場からのニーズを把握しながら、医師とも連携した病院勤務に対応できる救急救命士になるための知識・技能を習得します。

POINT3

**“チーム医療”に貢献できる
救急救命士を育成**

薬学科、看護学科、臨床検査学科とも連携して、学科を越えた学びを行うことで、チーム医療に貢献できる医療人を育みます。在学中から様々な人と協力しながら、チーム医療を想定した学びと経験を積むことができます。薬学、看護学、臨床検査学、救急救命を学ぶ学生が一つ屋根の下(講義棟)で学びます。

身につく力

- ☐ 深い洞察力と判断力
- ☐ 学科を越えた学びで薬学・看護学などの医療知識やチーム医療を推進する力
- ☐ 患者さんとその家族の将来を見据えた対応力と高い人間力

取得できる資格

救急救命士(国家試験)受験資格ほか

「救急救命士」は、厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下に、救急救命処置を行う専門職です。救急救命士になるためには「救急救命士国家試験」に合格しなければなりません。本学医療技術学部救急救命学科では、同学科において必要な知識・技能を修得し、卒業要件を満たすことで、「救急救命士国家試験受験資格」を取得可能です。

育てる人材像

- ☐ 高度な医療知識と技術を備えた人材
- ☐ 緊迫した現場での的確な対応と処置ができる人材
- ☐ チーム医療で活躍できる人材

将来の活躍フィールド

病院(ER、救急救命業務等)、消防官(救急救命業務等)、警察官、自衛官、海上保安官、大学院進学 ほか



※記載の内容は現在計画中の予定であり、変更される可能性があります。